

令和 かわら版 諏訪形

第8号
諏訪形自治会
会長：稲垣敦史

令和3年度 諏訪形自治会役員

退任あいさつ

自治会長 稲垣敦史



一年間たいへんにお世話になりました。ありがとうございます。私がとうございしました。私のような非力な者が、それでも何とか、自治会長を務めさせていただくことができたのは会員の皆さんのお力添えあつてのものと、心から感謝申し上げます。道歩いていけると、これまで存じ上げていなかった方からもお声をかけていただき、たいへんに励みになりました。

四年前と今回の二回にわたって自治会長を務めさせていただいてよくわかったことは、私たちの日常生活は、実は、たくさんの皆さんのお力で成り立っているということです。協議員の皆さんはもちろんのこと、ブロック長や隣組長の皆さん方、生活環境部員の皆さんにもとてもたくさんの仕事をしていただきました。ありがとうございます。また、まちづくり協議会、防犯・防災協議会、社会福祉協議会の皆さんには単年度ではなかなか動かせない課題について取り組み、ご苦労でいただいていること、消防団員の皆さんに昼夜を問わず活動していただいたことにも心より御礼を申し上げます。さらには、公民館役員の皆さんや交通安全や青少年の育成などにお力を注いでくださっている多くの皆さんにもこの場をお借りして感謝申し上げます。

また、本年も空き家の整備事業や草刈りなどについてボランティアをお願いしたところ、多くの皆さんからのご協力をいただくことができました。これも、この諏訪形の「地域力」の大きさかな、ということを感じました。

私はこれで自治会長を退任させていただきますが、これからも「多くの皆さんの活動やご苦労を多少なりともわかつている住民のひとり」として、少しでも地域のためにお役に立てたらと思っています。一年間、本当にありがとうございました。

副自治会長 窪田善雄



自治会のことを全く知らないまま副自治会長に就任し、あつという間に一年が過ぎました。この間、自治会エキスパートの稲垣会長、窪田和人総務部長のはるかに遠い背中を追いかけてながら、一生懸命走ってきましたが、なかなかその距離は縮まりませんでした。それでも自治会の存在意義と、その仕事の大変さは、身に染みて理解できたつもりです。

この修行を糧に、私だけが留年し、来年度自治会長を拝命しますが、驚いたことには、御所・中之条・三好町・千曲町・朝日ヶ丘・中村・須川・小牧・諏訪形の九自治会から構成される城下地区自治会連合会の会長が来年度諏訪形に廻ってくるのだそうです。「そんなの聞いてない!（泣）」という思いは胸に秘め、くじ運が良いのだと言い聞かせ、誠心誠意努力する所存です。それにつけても、皆様の温かいご理解ご協力がどうしても必要です。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

総務部長 窪田 和人



子供の頃は月日が長く感じ、大人になると早く感じると言われていますが、私の協議員としてのこの一年間もあつという間に駆け抜けていきました。

「なぜだろう?」と思いつきに、昨年に続くコロナ禍により、総会を始めとして区民交流会や寿賀の会など、地域の皆様との交流事業が殆ど出来ず、総務部長としての仕事の不足や皆様とのふれ合いの機会が少なく、心に残る事が無かったからでしょうか。そして「稲垣自治会長の手助けになつたのか?」と心残りの一年でした。

時が経つのが早く感じるのと長く感じるのと、どちらが良いというわけではないかも知れないが、いずれにしても充実した日々を過ごしていきたいものです。令和4年度も引き続き自治会総務情報部員として窪田善雄自治会長の下、自治会活動のお役に立ちたいと思います。マスクの無い顔で、皆様とのふれ合いが出来る良い年になるよう願っています。

会計部長 増澤 敦嗣



お引き受けする時は、自分に務まるのか不安でいっぱいでした。コロナ禍で中止になる行事も多く、通常よりもやることは少ないようでしたが、本業の仕事量が思っていたより減らず、文字通りドタバタの毎日でした。慣れないことともあり、案の定、色々と手落ちがあり、反省することばかりです。なんだかんだで。あつという間の一年でした。

一方で、数十年ぶりに地域の中を歩き回るようになり、諏訪形内の変貌ぶりに驚愕しました。かつて学校帰りに回り道した田んぼ道が、いつの間にか新しい住宅の生活通りに代わり、と思えばかつてあつた家屋がなくなり更地になり、見慣れた景色が変わる...意外と身近に驚くことが多いと思ひなす今日この頃です。

何はともあれ、忙しい日々でした。来年からは、コロナが収まって色々と行事が再開すると思ひます。が、皆さん、健康に気を付けて頑張りましょう!

社会部長 大沢 春美



社会部長に就任し主な任務は上田わつしよい、交流親睦会などの企画運営でした。人見知りをしない性格の私は何かが始まる事にワクワクして楽しみでありました。しかし、その期待とは裏腹の状況に心配が絶えませんでした。長引く新型コロナウイルスの拡大。前年度も多くの活動が休止となつてしまいましたが、一向に終息の兆しが見えない中で、実行できたのは、地域交流親睦会だけとなつてしまいました。しかし「諏訪形誌を歩く」「神社巡り」「道祖神巡り」「千曲川堤防見学会」「マレットゴルフ大会」と、どの会場も大変喜ばれリクエストもありました。私が担当したマレットゴルフ大会で日常ふれあう機会のない方々と過ごした時間は楽しかった思い出になりました。役員を退任する今は寂しい気持ちがあります。立場が代わつても地域貢献の意識を持ち続けたいと思います。役員の皆様、地域の皆様、いつもチカラになつてくださりありがとうございます。楽しかったです。

管理部長 村松 知有



今年一年、主に公民館の維持管理を担当してきました。今年もコロナの影響で公民館の利用数は減少のままでしたが、利用者の方々にはルールを守つて使わせていただき問題もなく一年を終えることができました。また、各クラブや団体の方々には定期的に清掃を行っていただき、春と秋の

大掃除は実施できませんでしたが、公民館を綺麗に維持することができました。この場を借りて御礼申し上げます。今年もコロナ禍で多くの行事が中止となつてしまいましたが、AEDのバッテリー交換や公民館のスリッパ入替え(年末予定)など行うことができました。最後に自治会役員、自治会員の皆様には多大な御協力をいただき感謝致します。一年間有難う御座いました。

生活環境部長 清水 匡



一年間自治会長ならびに各役員の皆様には大変お世話になりました。ご協力もいただきありがとうございます。また、諏訪形自治会会員の皆様には春と秋の河川清掃、金窓寺川沿線の草刈り、ゴミゼロ運動など、ご参加ご協力をいただき誠にありがとうございました。来年も地域美化活動推進に、ご協力をよろしくお願い致します。

広報部長 中島 晃



令和三年、広報部長として昨年の暮れに協議員を引き受けることになりました。「広報部長を希望します。」と申し出て、希望に沿う形となりました。令和三年の活動を振り返りますと、広報部としては大きな問題もなく、何とか活動できたと思っております。このことは自治会長さんを始めとする役員の方々の協力があつたからこそと思っております。協議員としては「上田わつしよい」等の行事が新型コロナウイルスの為に二年続けて中止となつたことで、一昨年の協議員の皆さんと比べると出番の少ないものになりましたが、春、秋の草刈り、河川清掃、資源ごみの回収等、諏訪形の皆さんの協力を頂いたお陰で、楽しく活動できたと思っております。

一年間ではありましたが、諏訪形の皆さんの協力に感謝申し上げます。有難うございました。

土木部長 柳澤 實



長年の要望であつた金窓寺川調整池の新設工事は、まちづくり協議会の協力の下、地主様、金窓寺様のご理解をいただき、上田市の工事として現在工事が進んでおり、来春三月完成の予定で、水害の危険性が大きく緩和されることが期待されます。また、細川信様宅西側土蔵解体撤去と隣接空き家の樹木伐採工事の結果、その西側道路の拡幅に目途がつきました。多くの自治会員のボランティアでの協力に深く感謝します。そして、坪八農園南道路の拡幅工

事も実施しました。これらの工事に際し、宮下省二市会議員様には、市や県への陳情等、大変ご尽力をいただきました。深く感謝申し上げます。

安全部長 眞田 勇次

退任に当たり一言ご挨拶申し上げます。この一年、コロナ禍での協議員活動となり、自治会恒例の諸行事はその大半が自粛を余儀なくされ、残念な思いをいたしました。この情勢が一日も早く収まることを願ひ、来年に期待する次第です。この一年、役員さんと共にさまざまな活動をして参りましたが、実際に経験してみますと大変なことも多く、これまでの自治会のご苦労が偲ばれました。多くの皆様のご協力により、私が担当した安全部の仕事をはじめ、この一年、さまざまな業務を何とかやり遂げることができました。深く感謝申し上げます。

この師走をもって退任いたしますが、今後は諏訪形自治会のさまざまな行事にできる限りの協力をしていく所存です。宜しくお願い申し上げます。

福祉部長 西尾 富美枝

令和三年、初めての協議員をお引き受けし、副支部長として皆様の方のお力添えをいただきました。ながら、一年が終わろうとしています。福祉部最大の行事である「寿賀の会」が本年も、コロナ禍の影響により、二年連続開催することができませんでした。記念品として商品券をお配りさせていただきました。来年こそは、コロナも収束して盛大に「寿賀の会」が行われることをお祈りしております。

この一年、協議員の皆様と協力して自治会活動ができましたことは、貴重な経験となりました。地域の皆様にも大変お世話になりました。感謝申し上げます。

地域部長 加々井 洋一

経験もなく不安の中で始まった初めての協議員でしたが、気が付けばあつという間に過ぎてしまった一年間でした。隣組長様にはいろいろとご支援をしていただき、何事も無く協議員を務める事が出来ました。私が担当しました「坪八家庭菜園事業」では利用いただいた皆様には素晴らしい野菜を作っていた感謝しています。また、土蔵などの解体作業にも参加させてもらいました。新たな体験をする事ができた実りのある一年間になりました。本年度はコロナの影響で各種の行事が中止になってしまいましたが来年度はコロナが収束して、今まで通りの行事が行える事を願っております。一年間ありがとうございました。

諏訪形誌を歩く

「金窓寺を訪ねて」



諏訪形誌活用委員会(柳沢公一委員長)主催イベント「諏訪形誌を歩く」の第三弾、「金窓寺とその仏像」が十月二十四日、同寺で行われ、約三十人の皆さんが参加しました。

まず、北澤伴康委員会顧問が、武田家滅亡後、武田信玄の縁者の女性、玉窓妙金法尼がこの地に隠れ、小牧山の一面に小庵を構えたのが寺の始まりであり、寺の名前「金窓寺」もこの尼僧の名に由来するとの自説を紹介しました。続いて窪田善雄委員が大乗仏教の成立や仏像の種類を解説し、その後、本尊の阿彌陀如来、本堂東仏壇の薬師三尊像を拝観しました。さらに、普段は公開されていない、玉窓妙金法尼が持参したと伝わる古笈(背負い箱)内部の釈迦三尊像を特別に見せていただきました。十六世紀後半の仏像と推定される貴重な文化財です。新聞記者の取材に答えて参加者の方が「古笈を見せていただくのは、初めて。感動で胸がいっぱい。ミホトケを背負って歩かれた昔の人えらさが偲ばれる。」と感想を述べていました。

今回のイベントは、神社巡り、道祖神巡りに続く三回目の企画です。諏訪形誌活用委員会では、今後も魅力ある企画を計画したいと考えています。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

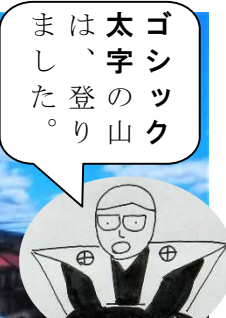
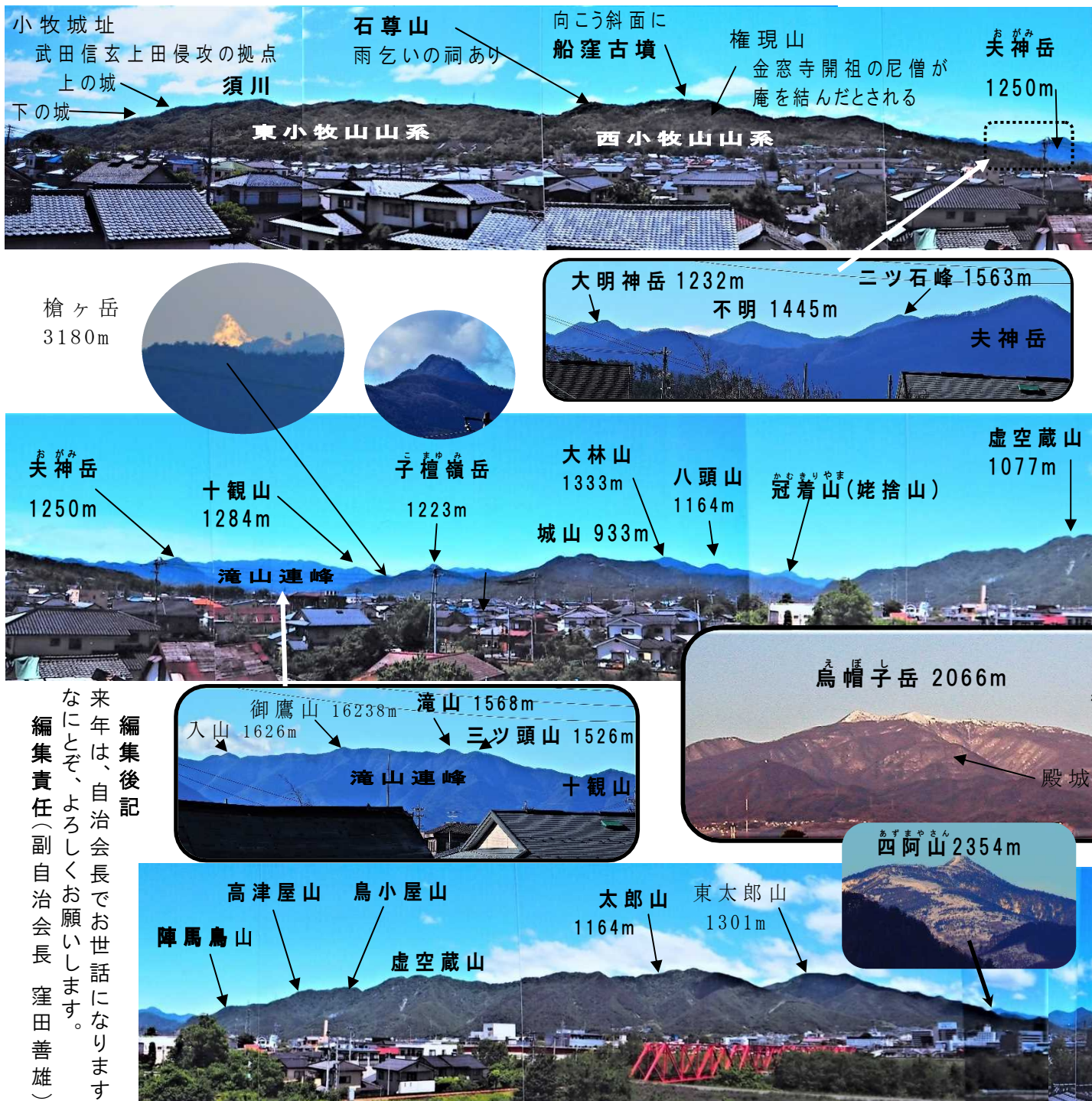
さいごにグルッと

『諏訪形誌』を歩く(四)

副自治会長 窪田善雄

諏訪形を囲む山々

個人的な趣味の話で恐縮ですが、十年ほど前から、日ごろ目にする諏訪形の山々を全部登ってやろうと思ひ立ちました。すると、毎日見ていながら、名前も知らない山々がたくさんあることや、なんと北アルプスの槍ヶ岳が見えることも分かりました。(全部登るといふ野望は、これで挫折...) そんなわけでこのシリーズ記事の最後に、諏訪形を囲む山々を紹介いたします。諏訪形への愛着をさらに深めるきっかけにいただければ幸いです。



編集後記
来年は、自治会長でお世話になります。なにとぞ、よろしくお願ひします。
編集責任(副自治会長 窪田善雄)